



第97回学長定例記者会見

日時：平成30年4月2日（月）14：00～14：30

場所：広島大学 東広島キャンパス 工学研究科管理棟2階小会議室

※Ustream および YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 情報科学部・総合科学部国際共創学科設置記念式典を5月16日に開催します
2. 全学部新入生を対象とした「世界に羽ばたく。教養の力」第2弾を実施します
3. トライリンガル養成特定プログラムを開始します

【お知らせ】

1. 教育学研究科・教育学部で
平成30年度から「公認心理師カリキュラム」をスタートします
2. 文科省委託「教科教育モデルコアカリキュラムの策定事業」
小学校教員養成コアカリキュラム案を作成
3. (4/17-26)第59回科学技術週間 放射光科学研究センター (HiSOR) の一般公開

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時：未定

場所：未定



平成30年4月2日

情報科学部・総合科学部国際共創学科
設置記念式典を5月16日に開催します

広島大学は5月16日（水）に、グランドプリンスホテル広島にて、情報科学部及び総合科学部国際共創学科の設置記念式典を開催します。

また、新学部・新学科の設置を記念して、2016年ノーベル生理学・医学賞受賞者の大隅良典氏をお招きして記念講演会を行います。本講演会は、世界のトップ研究者の話しを聞ける貴重な機会となりますので、本学の関係者だけでなく、高校生にも参加してもらうため高校へ開催の案内をしています。

日時：平成30年5月16日（水）
17：00～18：00
記念講演会
演題 調整中
講師 大隅良典 東京工業大学栄誉教授
18：10～18：30
記念式典
18：30～20：00
記念祝賀会

場所：グランドプリンスホテル広島

講演会案内：本学関係者及び高等学校

式典案内：文部科学省、地方自治体、大学、同窓会、寄附者 等

【お問い合わせ先】

財務・総務室
総務グループ 島原
TEL:082-424-6016



平成30年4月2日

全学部新生を対象とした

「世界に羽ばたく。教養の力」第2弾を実施します

広島大学は、全学部の新生を対象として、スポーツ、芸術、科学、ビジネスなど世界で活躍されているリーダーをお招きし、ご自身の学生時代や、困難を乗り越えた経験などを語っていただく「世界に羽ばたく。教養の力」を、昨年度から実施しています。

平成30年度からは、新たに開設する全学部必修科目「大学教育入門」の一環として実施し、全学部の新生は必ず2回聴講することになります。

講師陣は、東京大学教授池谷氏、広島東洋カープ前監督野村氏、オペラ歌手中丸氏に加えて、Jリーグ初代チェアマンの川淵氏や「課長島耕作」で有名な漫画家の弘兼氏など、新たな講師も多数お招きし、多彩な顔ぶれを予定しています。

世界で活躍するリーダーたちが、どのような学生時代を過ごし、困難を乗り越えたのか。学生たちに、間近で生きざまやスピリッツに触れてもらい、ワクワクする何かをつかんでもらうことを期待しています。

なお、開催日程、取材可否につきましては、別紙をご参照ください。

【お問い合わせ先】

教育室
教育部教育推進グループ 副グループリーダー 柳本
TEL:082-424-7134

平成30年度 教養教育「世界に羽ばたく。教養の力」

※職名等は平成30年3月1日時点のもの

No	講演日時	講師(敬称略)	職名等	キャンパス	教室	取材可否
1	4/18(水)10:30-12:00	伊東 豊雄	建築家 伊東豊雄建築設計事務所 代表	東広島	サタケメモリアルホール	要事前連絡
2	4/20(金)10:30-12:00	池谷 裕二	東京大学薬学部教授	東千田	東千田未来創生センター M401, M402, M304講義室	要事前連絡
3	4/24(火)18:00-19:30	越智 光夫	広島大学長	東千田	東千田未来創生センター M304講義室	要事前連絡
4	4/25(水)12:50-14:20	弘兼 憲史	漫画家	東広島	総合科学部 L102講義室	要事前連絡
5	4/26(木)12:50-14:20	野村 謙二郎	野球評論家 広島東洋カープ 前監督	東広島	総合科学部 L102講義室	要事前連絡
6	5/9(水)10:30-12:00	深山 英樹	広島商工会議所 会頭 広島ガス株式会社 相談役・名誉会長	東広島	法学部・経済学部 B257講義室	要事前連絡
7	5/9(水)10:30-12:00	湯崎 英彦	広島県知事	東広島	教育学部 L205講義室	不可
8	5/15(火)18:00-19:30	モーリー・ロバートソン	国際ジャーナリスト	東千田	東千田未来創生センター M304講義室	要事前連絡
9	5/17(木)14:35-16:05	川淵 三郎	Jリーグ初代チェアマン 元サッカー日本代表監督	東広島	総合科学部 L102講義室	不可
10	5/18(金)10:30-12:00	不破 亨	湧永製菓株式会社 取締役副会長	東千田	東千田未来創生センター M401, M402, M304講義室	要事前連絡
11	5/23(水)10:30-12:00	中丸 三千繪	オペラ歌手	東広島	サタケメモリアルホール	要事前連絡
12	5/23(水)14:35-16:05	高岡 浩三	ネスレ日本株式会社 代表取締役社長兼CEO	東広島	サタケメモリアルホール	要事前連絡



平成30年4月2日

トライリンガル養成特定プログラムを開始します

広島大学は、平成30年度から「トライリンガル養成特定プログラム」を開始します。

トライリンガルとは、3つの言語ができる人という意味です。本プログラムでは、専門教育と並行して、日本語と英語に加えて、中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語のいずれか1言語を、実用レベルで使いこなせる人材を学部横断的に育てるものです。

本プログラムの定員は各言語25人であり、プログラム修了時の到達目標として、国内外の技能検定試験に合格するレベルを設定しています。

本学はすでにスーパーグローバル大学として高度な英語力養成に努めておりますが、英語にプラスして世界の主要な言語も使いこなして活躍する『平和を希求し、チャレンジする国際的教養人』を育てることを目指しています。

※特定プログラムとは、主専攻プログラム（学位の取得を目的としたプログラム）では専門的に扱わない分野の学習（情報教育に関するものや高度な外国語能力を養成するものなど）、または、資格（学芸員や学校図書館司書教諭など）の取得を目的とした内容で編成されたプログラムです。

【お問い合わせ先】

外国語教育研究センター 吉満たか子
TEL: 082-424-6453
E-Mail: yoshimitsu@hiroshima-u.ac.jp

トライリンガル 養成特定プログラム

《中国語・韓国語・ドイツ語・フランス語・スペイン語》



Bonjour!



안녕하세요!



您好!



¡Hola!



Guten Tag!

トライリンガルとは？

トライリンガル (trilingual) とは「3つの言語を自由に操れる人」という意味です。

このプログラムは、母語である日本語とこれまで学んだ英語にもう1つの言語を身につけるためのプログラムです。

EU諸国では、「母語+2言語」が教育のスタンダード。グローバル社会に生きるみなさんも、このプログラムで1年次に学んだ3つ目の言語をより深く学び、「母語+2言語」を身につけませんか？

プログラムの目標

1年次に学習した初修外国語（中国語・韓国語・ドイツ語・フランス語・スペイン語）でのコミュニケーション技能を伸ばすとともに、国際的に活躍するために必要な言語運用能力と多言語・多文化に開かれたマインドを養成します。



プログラム修了時の到達目標

① 技能検定試験の合格

中国語 中国語検定試験 2級 または HSK(漢語考試) 3級合格

韓国語 ハングル能力検定試験準2級 または 韓国語能力試験 TOPIK II 4級合格

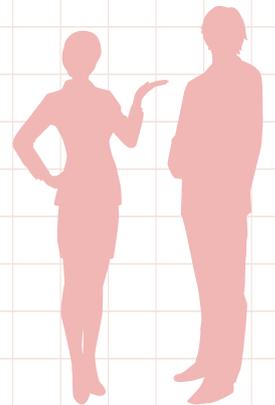
ドイツ語 ドイツ語技能検定試験 2級 または Goethe-Zertifikat B1合格

フランス語 フランス語技能検定試験 2級 または DELF/DALF B1合格

スペイン語 スペイン語技能検定試験 3級 または DELE B1合格

② それぞれの言語で自分の専門領域について簡単なプレゼンテーションができるようになること

③ 日本と当該言語の社会・文化比較、時事問題について、それぞれの言語で論理的に意見表明・議論ができるようになること



学習のプロセス

1年次

- ◆ ベーシック外国語
- ◆ インテンシヴ外国語

2年次

- ◆ コア科目 **12単位**

3～4年次

- ◆ 発展科目 **4単位**

このプログラムに参加するためには？

プログラムに参加するためには、次のいずれかの条件を満たしている必要があります。

① 1年次にそれぞれの言語のインテンシヴコースのすべての単位を取得していること

△ ベーシック外国語 I および II とインテンシヴ外国語 IA・IB・IIA・IIB のすべての単位を取得していること

② 当該言語の指定された級の検定試験に合格していること

中国語 中国語検定試験準4級 または HSK (漢語考試) 1級

韓国語 ハングル能力検定試験5級 または TOPIK I 1級

ドイツ語 ドイツ語技能検定試験4級 または Goethe-Zertifikat A1

フランス語 フランス語技能検定試験4級 または DELF/DALF A1

スペイン語 スペイン語技能検定試験5級 または DELE A1

③ 過去の学習歴や留学等の経験を通じて、上記①または②の条件に相当する言語運用能力があると認められること

登録方法

登録受付期間 (1月初旬～2月初旬) に「My もみじ」から登録を申請する

ガイダンス (2月中旬～3月初旬) に出席する

登録審査 (条件に応じて筆記試験や面接があります)

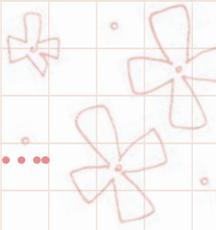
審査結果の通知 (3月下旬)

もみじで履修登録を行う

プログラムの定員

各言語 25名まで





授業科目と履修時期

「コア科目」を12単位、「発展科目」を4単位履修します。

「コア科目」には「海外語学演習」が含まれ、それぞれの言語の言語圏での短期留学を行った場合には、2～4単位としてカウントされます。

コア科目

- ◆ 12単位
- ◆ 2年次での履修が望ましいが、3・4年次での履修も可能



発展科目

- ◆ 4単位
- ◆ 3・4年次に履修
- ◆ 条件を満たせば、2年次での履修も可能

取得単位の取り扱い

このプログラムで取得した単位は、「専門教育科目」のうち「他学部等専門科目」もしくは「自由選択科目」として卒業要件単位としてカウントされます。単位数は各学部・学科で異なりますので、所属学部・学科で確認してください。



長期留学による単位認定

それぞれの言語の言語圏において6か月間以上の長期留学（海外の大学またはその国の教育機関が運営する語学研修等）をした場合は、「発展科目」の中から自由に選んだ最大4単位を認定します。留学による単位認定を希望する場合には、遅くとも卒業予定年度の10月31日までに、「外国の研修機関における語学研修認定申請書」に修了証・成績証明書および語学研修の内容（学修レベル・カリキュラム・時間数等）が分かる書類を添えて、外国語教育研究センターに申し出てください。



問い合わせ先

広島大学外国語教育研究センター
E-mail: trilingual@ml.hiroshima-u.ac.jp



平成30年4月2日

教育学研究科・教育学部で

平成30年度から「公認心理師カリキュラム」をスタートします

広島大学教育学部ならびに大学院教育学研究科は、平成30年度の学部・大学院（博士課程前期）の入学生から、日本初の心理学分野の国家資格である「公認心理師」の国家試験受験資格が取得できる「公認心理師カリキュラム」をスタートいたします。

「公認心理師」は、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって支援や相談の業にあたる専門職です。

広島大学では、学部4年間と大学院博士課程前期2年間の6年間の充実したカリキュラムによって、実践力と多様な心理学分野の研究能力を備えた実践家の養成を目指します。

（参考資料：厚労省HPより）

「公認心理師とは」

公認心理師とは、公認心理師登録簿への登録を受け、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者をいいます。

- (1) 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
- (2) 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
- (3) 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
- (4) 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

【お問い合わせ先】

広島大学大学院教育学研究科心理学講座 服巻 豊（はらまき ゆたか）
TEL:082-424-6769 FAX:082-424-3478



平成30年4月2日

文科省委託「教科教育モデルコアカリキュラムの策定事業」
小学校教員養成教科教育コアカリキュラム案を作成

現在、全国の大学が文部科学省に教職課程認定を申請する際には、基礎となるコアカリキュラムと対応することが求められている。広島大学教育学部初等カリキュラム開発講座が中心となって行った本事業は、このコアカリキュラム（小学校教員養成）の原案となるものを作成し文部科学省に報告したものである。

今後、全国の国公私立大学の教員養成課程において、広島大学が中心となって策定したコアカリキュラムをベースとしたカリキュラムが今後作成され実行される可能性が高い。

成果の波及効果は以下のとおりである。

1. 教員としての力量形成に効果的に資するモデルコアカリキュラムを開発し、シラバス案を提示したことにより、次世代の小学校教員養成課程のスタンダードを示した。
2. 本事業に拠って策定した広島大学スタンダードは、全国の国公私立大学の全ての教員養成課程におけるカリキュラム／シラバス作成に根本的な影響を与えるものとなる。
3. すでに本スタンダードは国際的な学会で一部報告されており、世界的にも注目されるものとなっている。

※本事業の成果報告書は、広島大学大学院教育学研究科のHPにて閲覧できます。<<https://www.hiroshima-u.ac.jp/ed/>>

【お問い合わせ先】

文部科学省委託 教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業
事務担当 中島 一恵 TEL: 082-424-7074
初等カリキュラム開発講座事務職員
石田 昌子 TEL: 082-424-7169

【テーマ7】 広島大学大学院教育学研究科

『学び続ける教員』を育成する小学校教員養成モデルコアカリキュラムの開発

本調査研究の概要

◆本調査研究の目的

- ・全国の教員養成課程で実施可能な汎用性を持つ小学校の教科教育モデルコアカリキュラムを開発する
- ・大学の教職課程における教科教育の質の向上を目指す

◆本調査研究の実施方法

- ①東京学芸大学調査（「英語教員の英語力・指導力強化のための調査研究事業」について）
- ②西日本地区小学校教員養成大学61校（国公立大24・私大37）のシラバス調査
- ③①②を踏まえ、本学教員でコアカリキュラム案を作成
- ④本学教員、他大学教員、広島県教委指導主事、広島市教委指導主事、小学校教員からなる教科グループ（総勢56名）でコアカリキュラム案を検討
- ⑤報告会（平成30年1月20日実施、106名参加）でコアカリキュラム案を公表し、意見を求める
- ⑥意見を踏まえて、小学校教科教育モデルコアカリキュラムの完成

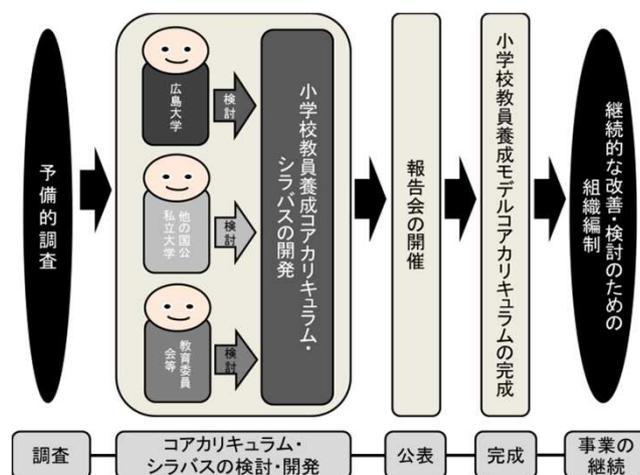
本調査研究の特徴・成果

◆本調査研究で開発したモデルコアカリキュラムの特徴

- ①各教科の内容や指導法について、全国の大学で共通的に習得させるべき資質能力を育むものである
- ②シラバスが複数提示されているため、どの大学においても実施可能な汎用性を備えている
- ③大学教員、教育委員会関係者、小学校教員など、多様な立場からの意見が反映されている

◆成果

- ①上記の特徴を備えたモデルコアカリキュラムの開発とシラバス案の提示
⇒次世代の小学校教員養成課程のスタンダードを示した
- ②モデルコアカリキュラムの開発の際、多様な立場からの意見や多角的な知見を反映
⇒カリキュラムの質的転換を進める意義やその内容を広く周知させた
- ③モデルコアカリキュラムを継続的に検討する共同体の編成
⇒本コアカリキュラムを運用させながら、継続的に改善する



今後の活動

◆広島教員養成コンソーシアム（仮称）の設立

広島県内の小学校教員養成の発展と改善を継続的に行うことを目的として、広島教員養成コンソーシアム(仮称)を設立する。構成員は、教員養成課程を持つ国公立大学の教員、教育委員会、小学校教員等である。平成29年度「初等教育カリキュラム学会大会」において提案した。



平成30年4月2日

第59回科学技術週間 放射光科学研究センター（HiSOR）の一般公開

21世紀の科学技術で「量子」は重要なキーワードになっています。光や電子などのミクロな粒子は量子と呼ばれる共通の性質を示します。この量子の性質を巧みに扱う科学技術が、大きく進展し社会に広がろうとしています。

放射光科学研究センターは、高速で飛行する電子からの強力な光（放射光）を用いて、物質や生命の示す不思議な性質の源となっている量子状態を探る研究で世界をリードしています。

第59回科学技術週間にあわせ、未来を担う中高生や一般の皆様にご紹介いたします。科学技術の未来について一緒に考えてみませんか。

記

- 日時：平成30年4月17日（火）～4月26日（木）10:00～15:00
（※日、月は施設利用の都合により除きます）
- 会場：広島大学放射光科学研究センター
- 内容：施設見学・演示（10:00～、13:00～）
セミナー、施設の見学、演示実験
- 参加費：無料
- 対象：中学生、高校生、一般の方（各時間区分で定員40名程度）
- 事前申込：事前準備が必要となるため、参加ご希望の方は、4月13日（金）17:00までにセンター事務室にお申し込みください。
応募多数の場合には、抽選もしくは時間等を相談し調整する場合がございます。申し込み方法は、センターホームページをご覧ください。
※関連 URL（広島大学放射光科学研究センター）
<http://www.hsrb.hiroshima-u.ac.jp>

【お問い合わせ】

広島大学放射光科学研究センター
〒739-0046 広島県東広島市鏡山2丁目313
TEL 082-424-6293（放射光科学研究センター事務室）
E-mail: hisor@hiroshima-u.ac.jp

広島大学放射光科学研究センター (HiSOR) の一般公開

平成30年4月17日～26日

科学技術週間は科学技術の大切さを1人でも多くの人々に理解していただくこと、日本の科学技術をさらに発展させること等を目的に制定され、「発明の日」(4月18日)を含む1週間と定められています。

第59回 **科学技術週間**

21世紀の科学技術で「量子」は重要なキーワードになっています。光や電子などのミクロな粒子は量子と呼ばれる共通の性質を示します。この量子の性質を巧みに扱う科学技術が、大きく進展し社会に広がろうとしています。

放射光科学研究センターは、高速で飛行する電子からの強力な光(放射光)を用いて、物質や生命の示す不思議な性質の源となっている量子状態を探る研究で世界をリードしています。

第59回科学技術週間にあわせ、未来を担う中高生や一般の皆様にご紹介いたします。科学技術の未来について一緒に考えてみませんか。

日時 : 平成30年4月17日(火)～4月26日(木) 10:00～15:00
(※日、月は施設利用の都合により除きます)

会場 : 広島大学放射光科学研究センター
内容 : 施設見学・演示(10:00～、13:00～)
セミナー、施設の見学、演示実験

参加費 : 無料

対象 : 中学生、高校生、一般の方(各時間区分で定員40名程度)

事前申込 : 事前準備が必要となるため、参加ご希望の方は、4月13日(金) 17:00までにセンター事務室にお申し込みください。

応募多数の場合には、抽選もしくは時間等を相談し調整する場合がございます。申し込み方法は、センターホームページをご覧ください。

※関連 URL (広島大学放射光科学研究センター)

<http://www.hsorc.hiroshima-u.ac.jp>